

目次・使い方	はじめに	CEOメッセージ	日産のCSR戦略	日産のCSRマネジメント	ルノーと日産のアライアンス	CSRデータ集	第三者保証
環境	安全	社会貢献	品質	バリューチェーン	従業員	経済的貢献	コーポレートガバナンス・内部統制

## CEOメッセージ



西川 廣人  
日産自動車株式会社 社長兼最高経営責任者 (CEO)

業界をリードする自動車会社の一つとして、新たな時代を迎える持続可能なモビリティ社会の実現に貢献する取り組みは欠かせません。

日産は、「人々の生活を豊かに」という企業ビジョンのもと、革新的なクルマやサービスを創造し、地球温暖化、大気汚染、渋滞、交通事故等、社会が直面する差し迫った脅威に対応することを目指しています。

2016年はこの変革に向けた取り組みをより一層加速させました。環境面においては、電気自動車「日産リーフ」の販売がグローバルで累計25万台に達し、さらに新しい電動パワートレインを搭載した「ノート e-POWER」を日本で発売しました。また、安全の領域では、日本で発売した新型「セレナ」に自動運転技術の第一弾として、「プロパイロット」を搭載。今後はルノー・日産

アライアンスとして、2020年までに世界中で自動運転機能を装備したクルマを合計10車種投入する予定です。

日産は社会的責任を果たす企業として、2004年から参加している「国連グローバル・コンパクト」が掲げる普遍的な原則を引き続き順守していきます。企業活動全般においてサステナビリティのパフォーマンスをさらに向上するべく、川口 均専務執行役員をチーフ サステナビリティ オフィサー (CSO) に任命しました。川口はCSOとして、長期的かつグローバルな視点からサステナビリティ課題に対する解決策を導き出し、従来のCSR活動をさらに強化、加速するための推進役を担います。

サステナビリティを常に意識した取り組みを続けてきた成果として、日産は、社外ステークホルダーの皆さまからも高い評価をいただいています。2016年には、世界的に権威のあるサステナビリティ格付け指標「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI)」における「ワールド・インデックス」の構成銘柄に初めて選定されました。日産は、2016年にこの銘柄に選定された唯一の日系自動車メーカーで、これは私たちが正しい方向に向かっている証でもあります。

世界の環境や社会が急速に変化していく中、日産はイノベーションをもたらし、サステナビリティ課題に解決策を提供するべく決意を新たにしました。新たな中期経営計画が始まる2017年度は、これまで以上にサステナビリティのパフォーマンスを加速させる良い機会です。160に上る国々地域で事業を展開するグローバル企業として、世界中の人々に新たなモビリティ時代の果実をご提供する自動車会社になるべく、今後もスピード感を持って取り組みを続けてまいります。

西川 廣人

西川 廣人  
日産自動車株式会社  
社長兼最高経営責任者 (CEO)